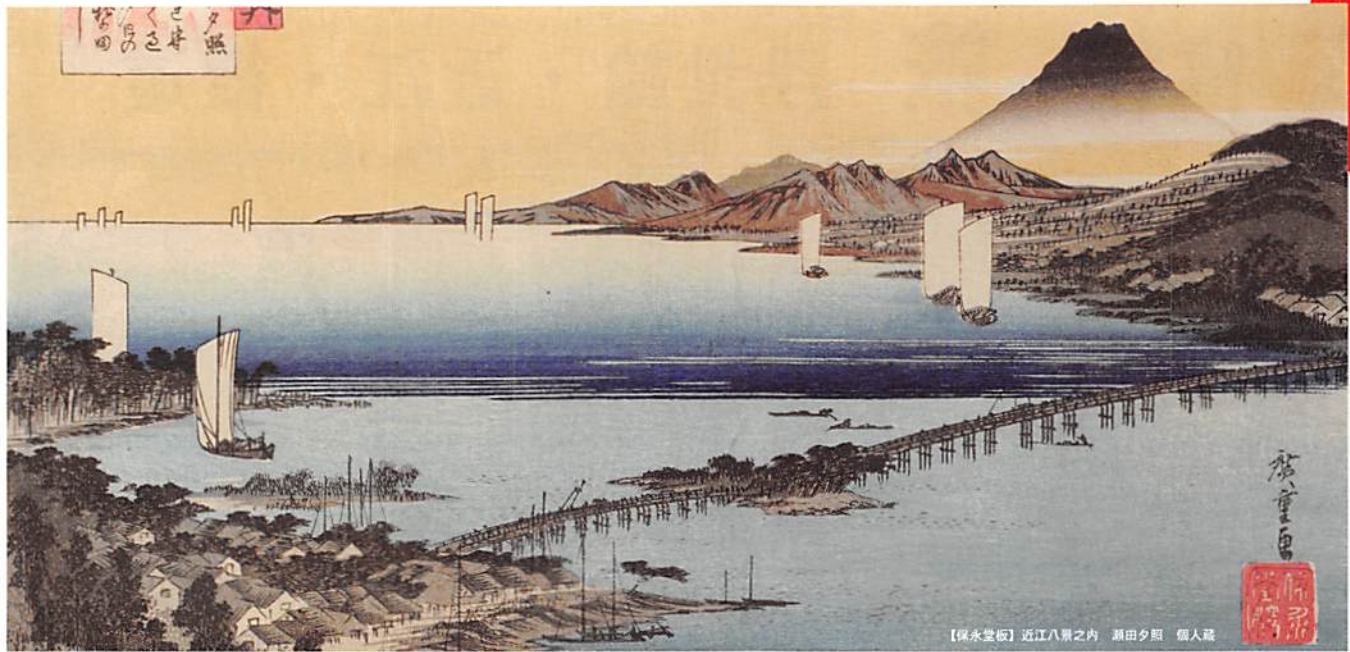


開館
25周年
記念
企画展



【保永堂版】近江八景之内 瀬田夕照 個人蔵

旅の重広

街道・近江・浮世絵




平成27年 7月25日(土)～8月30日(日) 休館日：月曜日



木曾海邊六拾九次 大津 本館蔵

観覧料 一般：500円(400円)、高大生：300円(240円)、小中生：200円(160円)

※()内は前売り、15名様以上の団体割引、大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障害者の方の割引料金(証明書等をご提示ください)。
※前売り券は、大津市観光案内所(JR大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード57794)をはじめ、京阪津地区の主なプレイガイドで7月1日から発売。

主催：大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・ 京都新聞 後援：NHK 大津放送局・ 中京放送・ radio

大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号
TEL 077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>

広重の旅 浮世絵・近江・街道



日本を代表する浮世絵師、歌川広重(1797-1858)。海外では「霧と雪と雨の芸術家」と讃えられました。江戸時代、全国の名所を、豊かな情景描写で作品化した彼の功績は、浮世絵師の中でも突出しています。

そして、近江の名所風景も、青年期から最晩年にいたるまで描きつけています。

傑作とされる【保永堂板】東海道五拾三次】、【保永堂・栄久堂板】近江八景之内】をはじめ、広重は、まるで旅番組のカメラマン兼ディレクターのように、臨場感あふれる近江の街道・名所風景の姿を切り取っています。

本展では、館蔵の広重作品と共に、貴重な初摺作品が目白押しの草津市所蔵の広重作品群も一堂に展示し、広重作品による近江の街道・名所風景の世界を紹介いたします。

併せて、街道・名所の絵巻・屏風作品を展示し、皆様を江戸時代の近江の街道・名所にいざないます。

・本展では、合計200点あまりの作品が出陳！

・代表作の【保永堂板】五十三次以外にも、普段あまり展示されない別バージョンの五十三次も展示。



左上：諸国六玉川 近江野路の玉川（草津市蔵）

和歌のテーマである諸国六玉川。広重も、あえて、日常的な名所絵表現ではなく、王朝趣味的に山水草花を描き、公家たちを登場させています。

右上：【保永堂板】東海道五拾三次之内 土山（草津市蔵）

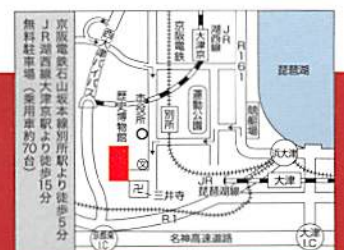
宿場本陣へと街道を急ぐ大名行列。合羽を羽織った先頭の槍持ち奴たちが、うつむき加減なのは、夕暮れ前で、疲労がピークに達しているからでしょう。線条の降雨表現が本作の見せ場。

左下：五十三次名所図会 五十四 大津（本館蔵）

高層建築のない観音堂からの琵琶湖眺望。このアングルは、明治期に外国人向けの土産物として流行した名所写真で一般的になりましたが、広重作品はその最も早いケースです。

右下：東海道名所図絵（草津市蔵）

狂歌師や数寄者たちの狂歌集として版行された贅沢な名所絵狂歌集。数寄者向けに、色摺りや情景表現を、さらに上品な仕様で仕上げています。



企画関連講座
【要事前申込】

※当館までお問い合わせください。

■8月1日(土) 14:00~15:30

「広重の浮世絵版画にみる様々な摺り」(竹中木版竹笹堂 五代目摺師 竹中健司)

■8月8日(土) 14:00~15:30

「実演！摺師による浮世絵版画の多色摺り」(竹中木版竹笹堂 摺師 森愛鐘)